

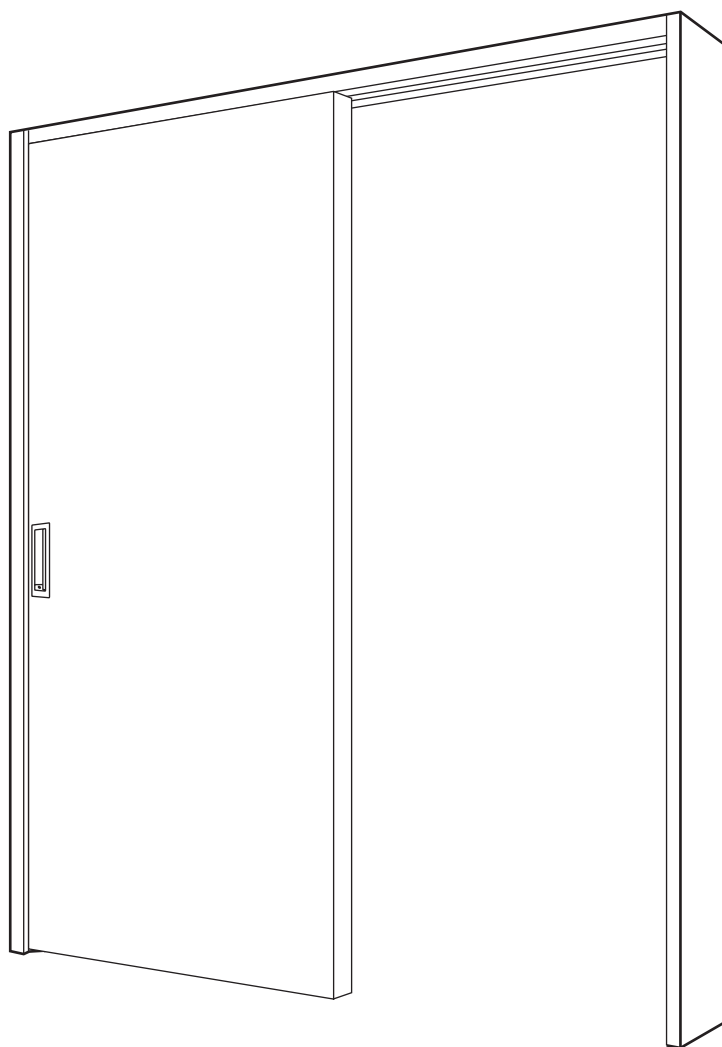
miratap

建具

ノツポ 片引き戸

組立設置説明書 04-NOP05S-10

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。



●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



本商品は室内専用です。

屋外や浴室などの水がかり部分や他の用途へのご使用はおやめください。



扉や枠セットの保管は、湿気や直射日光の当る場所を避けてください。また、立てかけた状態での保管は、やめてください。保管状態が悪いと、反りやねじれの原因となります。



枠を躯体へ取付ける際は、水準器・下げ振り等で必ず水平・垂直になっているか確認してください。



施工後は、キズや汚れを防ぐために、養生材等で養生してください。



枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。

やむを得ず直付けする場合は、枠材木口と下地面の間に、必ず防水処理をしてください。



扉や枠が汚れている場合は、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を浸し、かたく絞って拭き、乾いた布で拭取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。変色・変質のおそれがあります。



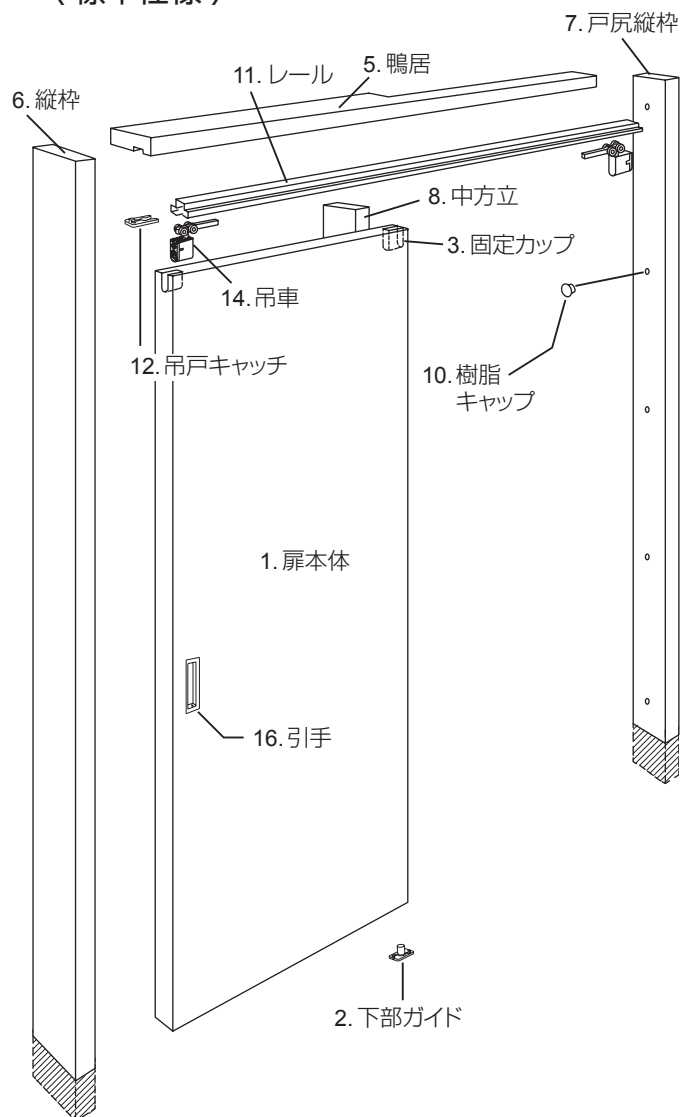
枠の組立てには、同梱のビス・ネジを使用してください。

他のビス・ネジを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。

1 全体図

《固定枠》

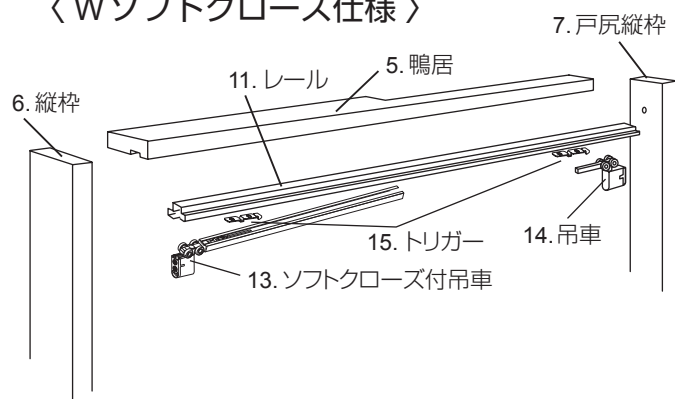
〈標準仕様〉



床に埋め込まない場合は納まりに合わせて現場カットしてください。

※ イラストは右引き仕様になります。

〈Wソフトクローズ仕様〉



《扉》

番号	名称	数量
1	扉本体	1
2	下部ガイド 取付ビス $\phi 3 \times 20$	1 2
3	吊車固定カップ(取付済)	2
4	ソフトクッション	6

《枠》

番号	名称	数量	
		標準	Wソフトクローズ
5	鴨居	1	1
6	縦枠	1	1
7	戸尻縦枠	1	1
8	中方立	1	1
9	枠組み立てビス $\phi 4.0 \times 50$	4	4
10	施工用ビスセット 樹脂キャップ 枠取付ビス $\phi 4.0 \times 50$	10(12) W1190:15本(17) W1450:15本(17) W1645:16本(18) W1745:16本(18)	10(12) W1190:15本(17) W1450:15本(17) W1645:16本(18) W1745:16本(18)
11	レール(同梱) 取付ビス $\phi 3.5 \times 32$	1 W1190:5本 W1450:6本 W1645:6本 W1745:7本	1 W1190:5本 W1450:6本 W1645:6本 W1745:7本
12	吊戸キャッチ	1	-
13	ソフトクローズ付吊車 (固定カップ別)	-	1
14	吊車 (固定カップ別)	2	1
15	トリガー 取付ビス $\phi 4.0 \times 16$ 治具	-	2 4 1

※ 上記数量は必要数量です。ビス・ビスキャップは上記数量より多い場合があります。

《引手》

番号	名称	数量
16	引手(錠付きタイプの場合は、引手付錠)	1

《その他》

番号	名称	数量
17	組立設置説明書(本紙)・取扱説明書 ※取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。	各1

《表示錠》(オプション)

番号	名称	数量
18	カマ錠受け	1

※ 沓摺・床見切を使われる場合は別途現場にて手配してください。

※ () の数量はH2401~2700までの特注の場合。

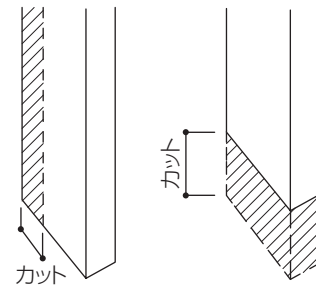
4 施工の前に

枠を床下に埋めこまない場合は枠下端をカットしてください。

枠を床下に埋めこむ場合は枠下端を床厚さに合わせてカットしてください。

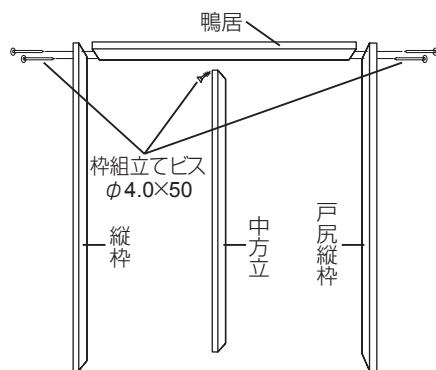
戸尻縦枠を壁に埋め込まない場合は壁納まりと枠の出寸法に合わせてカットして下さい。

詳細は寸法図を確認してください。

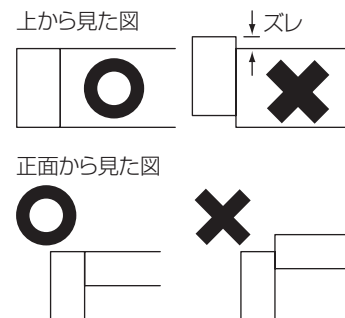


三方枠を組立ててください。

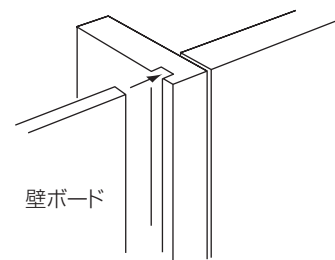
※枠組立てビスをご使用ください。



※縦枠、戸尻縦枠と鴨居にズレがないことを確認してください。



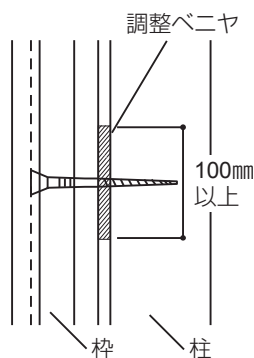
固定枠・薄壁枠の場合は、必要に応じて枠の裏側に壁ボードの溝加工を行なってください。



5 施工手順

《開口部への枠の取付》

①枠を固定する際は、枠取付ビスの部分に木工ボンド（現場手配）を塗った調整ベニヤ（幅＝柱幅程度 × 高さ＝100mm以上）を入れてください。

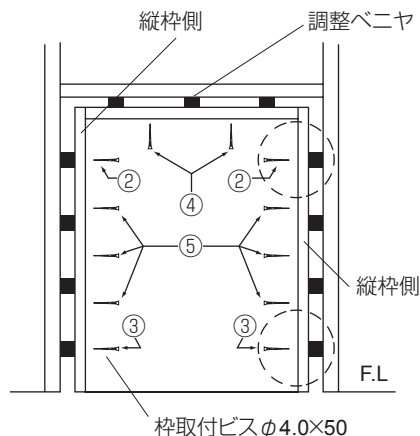


手順②③④⑤部分の調整ベニヤは左図のように入れてください。

②枠を開口部にはめこんで縦枠側の上部を枠取付ビスで仮固定してください。

③下げ振り等を使って垂直をだしてから、縦枠の下部を枠取付ビスで仮固定してください。

④水準器等で鴨居の水平を見ながら鴨居を枠取付ビスで仮固定してください。



調整ベニヤを入れないと、枠がぐらつき、壁と枠の間にスキマが発生する恐れがあります。

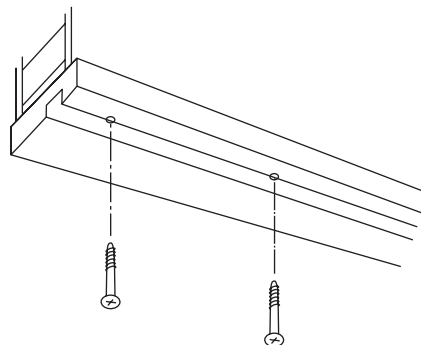
⑤調整ベニヤを入れて、枠の前後、左右のたわみがないことを確認後、仮固定したビスおよび残りの枠取付ビスで本固定してください。



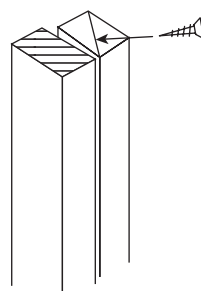
枠の水平・垂直を必ず確認してから取付けてください。
（扉が閉まらない原因となります）



鴨居は同梱の枠取付ビスで下穴から固定してください。



⑥中方立の水平・垂直を確認し、位置が決まった後にカットし、裏面からビスで固定してください（現場手配）

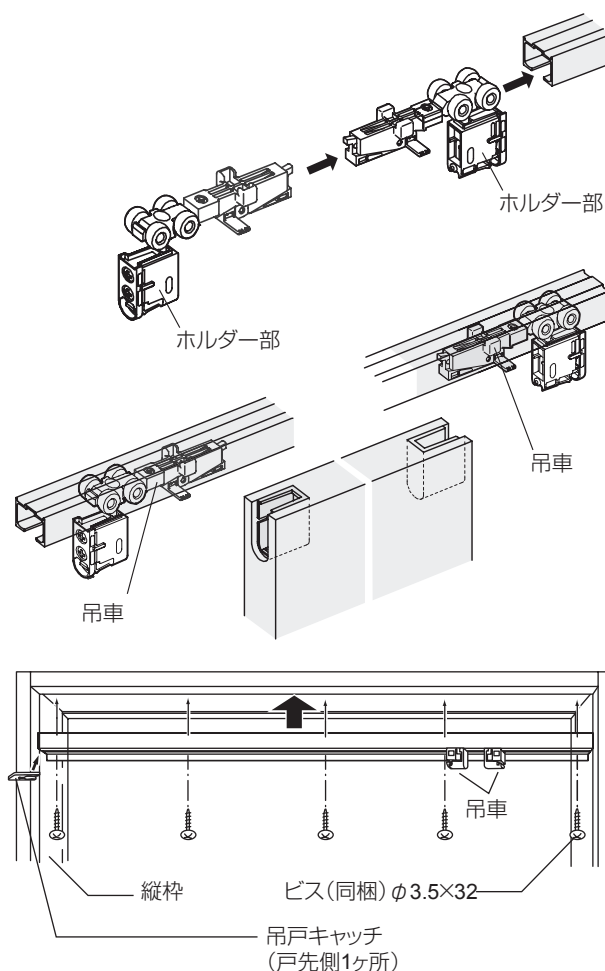


6 レールの取付け

[標準仕様の場合]

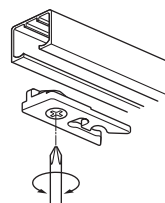
《手順》

- ①レールを取付ける前に、図に示す方向で、吊車をレール内に挿入します。
- ②レールを鴨居の溝に差し入れます。
※取付けの際に吊車を落とさないよう手で押さえて枠に差し入れてください。
- ③レールのビス穴と、鴨居のリード穴位置を合わせます。
(300ミリにつき1ヶ所)
- ④レールを同梱のビスで固定します。(300ミリにつき1ヶ所)
- ⑤エア等で、レール取付け時に発生した木屑を除去してください。
※木屑等が残っていると、うまく作動しない場合があります。



- ⑥吊戸キャッチを取付けます。

吊戸キャッチは、レールを取付けた後に装着することができます。



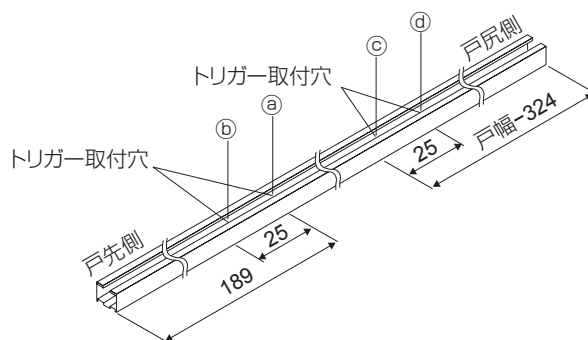
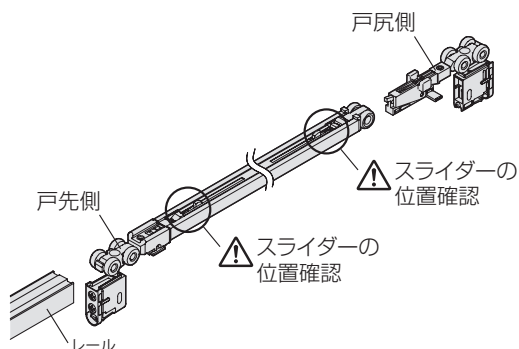
[Wソフトクローズ仕様の場合]

《手順》

- ①スライダーが図の位置になっているか確認します。
なっていなければ、押して戻しておきます。
- ②レール取付けの前に、図の方向で吊車をレール内に挿入します。
- ③鴨居にレールを取付けてください。
レールの固定方法は[標準仕様の場合]と同じです。



ソフトクローズを正しく作動させるために、必ず確認してください。



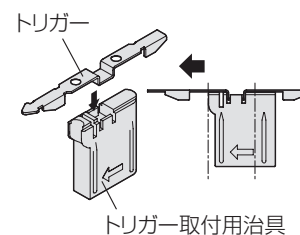
- 吊車挿入時及び取付け時にはレールの向きに注意してください。
- ソフトクローズ付の場合はストッパーの取付けは不要です。

④トリガーの取付け

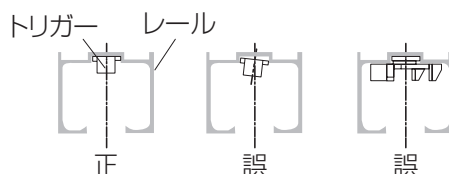
戸先用・戸尻用に、下記①～③を繰り返します。

①トリガーをトリガー取付け用治具にセットします。

②右記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、上部レール図に示す〔戸先用の場合：穴⑥〕・〔戸尻用の場合：穴④〕に、添付ビスでトリガーを固定します。

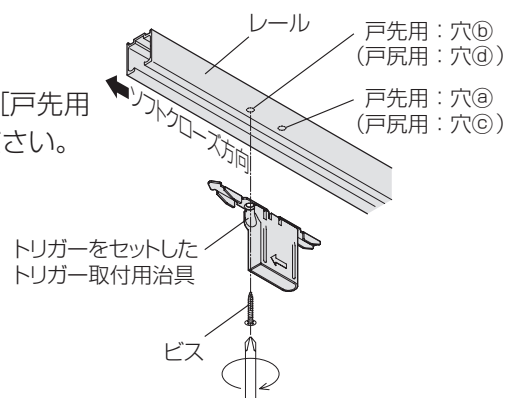


- 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
- トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。



- 必ず手回しドライバーで締め付けてください。
- トリガーが溝に入っていない状態でビスを締め付けると、トリガーが変形します。

③完全に固定されたら、取付け用治具を下に引き抜き、残りの〔戸先用の場合：穴④〕、〔戸尻用の場合：穴⑥〕をビス止めしてください。



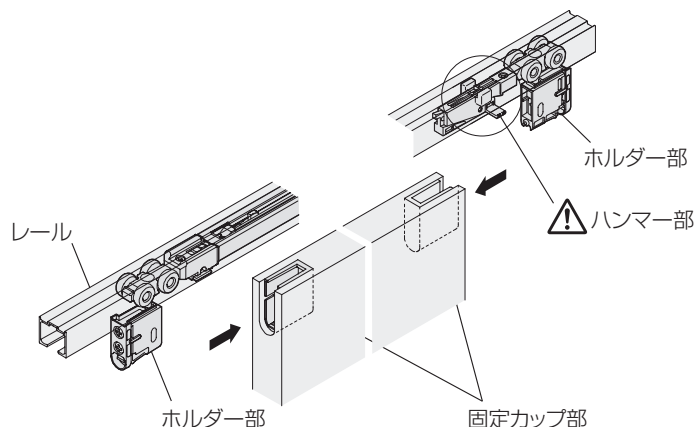
レールは、縦枠側にすきまができないように取付けてください。

7 扉の吊り込み

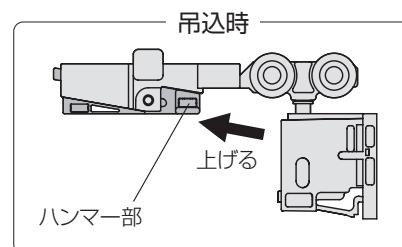
①戸先側の吊車は固定カップ部にホルダー部をしっかりと差し込みます。

②戸尻側の吊車はハンマー部を上になげてから、固定カップ部にホルダー部をしっかりと差し込みます。

※しっかりと差し込み、抜けないことをご確認ください。



※ 本図はWソフトクローズ仕様の場合を示す。

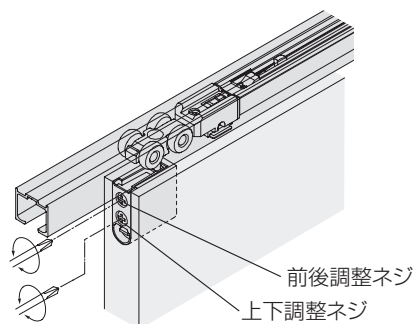


8 吊車の調整

《上下方向の調整・調整範囲±2.5mm》

《前後方向の調整・調整範囲±2mm》

扉を吊ったままで、ホルダー部の上のネジを回すと戸の前後調整、下のネジを回すと扉の上下調整ができます。



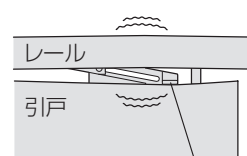
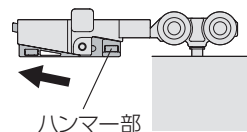
※ 本図はWソフトクローズ仕様の場合を示す。



- 調整は必ず手回しドライバーを使用してください。
- 吊車で調整しきれない場合は再度枠の水平・垂直を確認し直してください。
- ソフトクローズ付の場合、ソフトクローズの速度調整は出来ません。

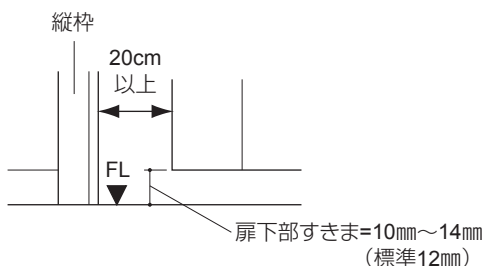


- 吊車を上下調整する場合は、ハンマー部を斜め上にスライドさせてから調整し、調整後にハンマー部を下ろしてください。
- 戸の開閉操作が重い場合は、ハンマー部を少し上げてくださ。



ハンマー部が下がり過ぎている。

※吊車の調整は、扉を20cm以上開いた状態で行ってください。



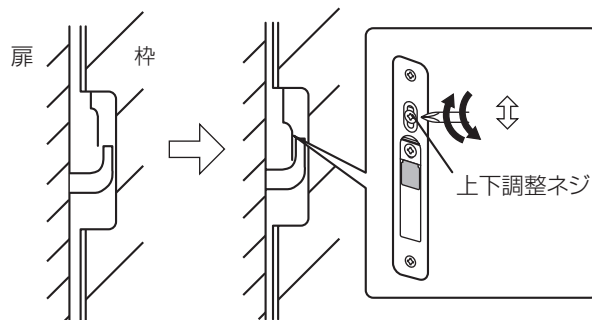
9 カマ錠受座の調整

《カマ錠タイプの場合》

カマ錠受座にて錠のかかり具合を調整してください。

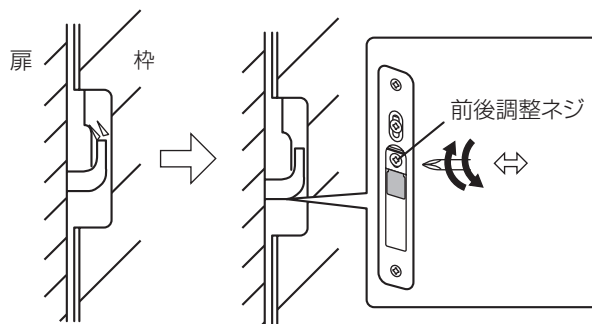
《上下調整 調整範囲5mm》

- ① 上下調整用ネジを緩めてください。
- ② 適当な位置に調整して、ネジを締めてください。
- ③ 扉を閉めて施錠し、扉が開かない事を確認してください。
- ④ まだ扉が開く場合は①～③を繰り返し調整してください。



《がたつき調整 調整範囲4mm》

- ① 前後調整用ネジを緩めてください。
- ② 適当な位置に調整して、ネジを締めてください。
- ③ 扉を閉めて施錠し、がたつきのない事を確認してください。
- ④ まだがたつく場合は①～③を繰り返し調整してください。



調整は必ず手回しドライバーを使用してください。

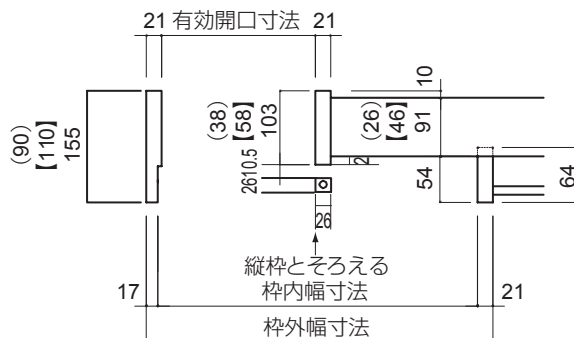
10 下部ガイドの取付け



必ず扉の上下前後（**8**）をしっかり行ってから、下部ガイドを取付けてください。

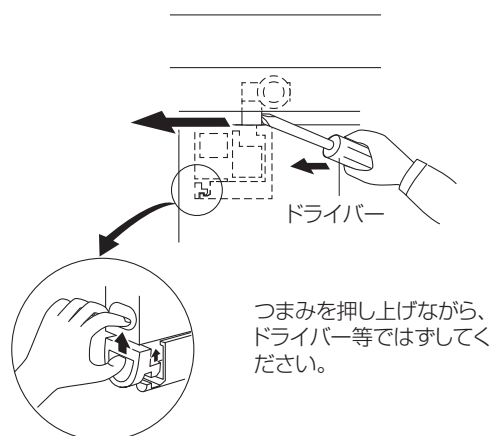
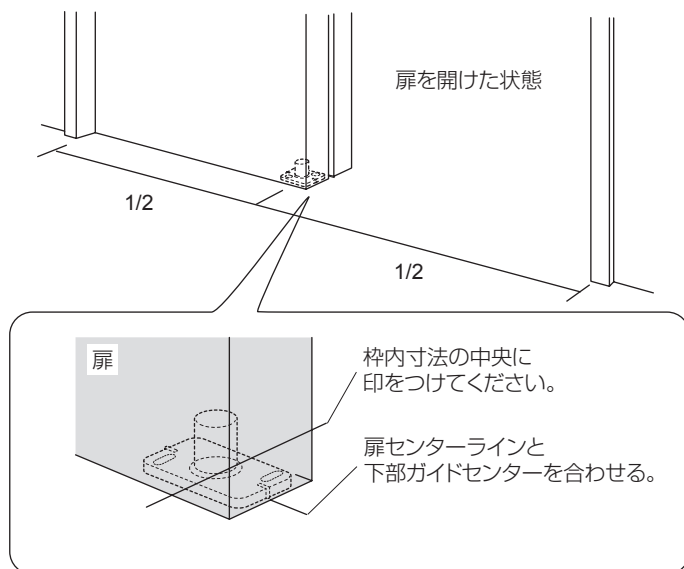
吊り込んだ扉を開けた状態で印を付けてから取付けてください。

《固定位置の確認》



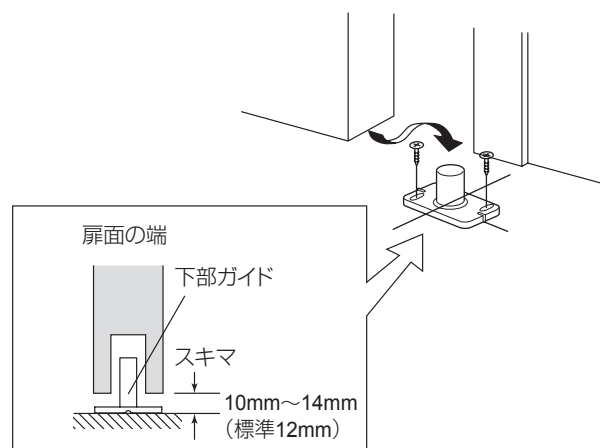
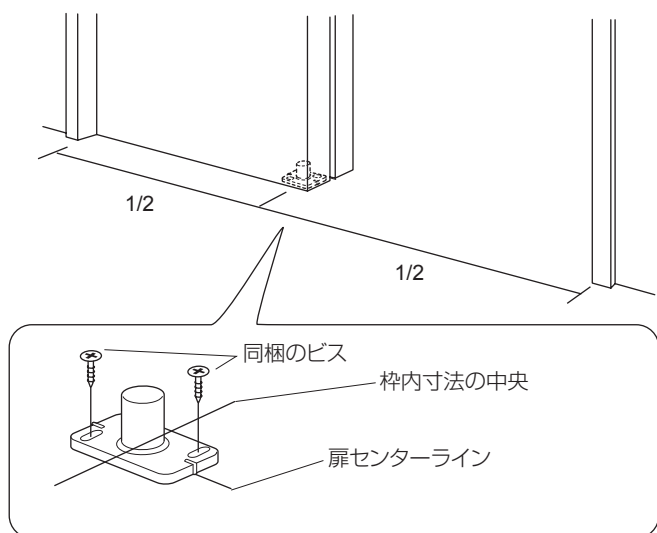
① 下部ガイドが枠内寸法の中央になるように位置を決めて印をつけてください。

② 扉両側の吊車をいったんはずし、扉をはずしてください。

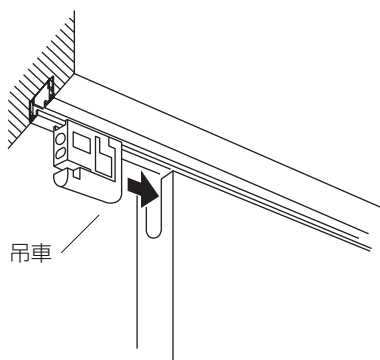


③ 下部ガイドを同梱のビスで取付けてください。

④ 扉を下部ガイドにはめこんでください。



⑤再び吊車をはめこむ。



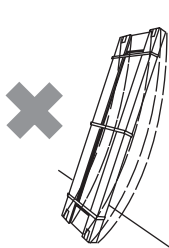
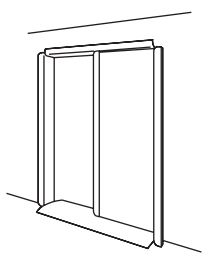
⑥扉を静かに開閉し、下部ガイドがガイド溝に触れないことを確認してください。



- 扉を上げすぎると下部ガイドに扉がかからない恐れがあります。その場合は再度吊車で高さ調節してください。
- 扉下木口と床面とのスキマは10mm以上（標準12mm）あけてください。下部ガイドと扉下木口がこすれ、作動不良の原因となります。

11 養生

工事が完成するまで扉・枠を養生材などで養生してください。その際、養生テープを枠・建具に直貼り使用すると、表面シートが剥がれる事がありますので、直接貼らないようにしてください。金具は布・ミラーマットなどで養生してください。



※扉は壁に立てかけて保管しないでください。反りの原因になります。
※扉は梱包材に再度入れ、平積み保管してください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

